

Game Report

開催場所：大津町総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学春季バスケットボール選手権大会 女子 5 位決定戦

試合期日：2018 年 5 月 20 日(日)

CC：片岡 瑞季

試合時間：10：00～

U1：角田 杏子

U2：久原 裕未

西南女学院大学	○ 7 4	28	—1st—	9	● 5 6	東海大学九州
		16	—2nd—	17		
		15	—3rd—	4		
		15	—4th—	26		

第 1 ピリオド

東海大 # 6 山下のジャンプシュートで第 1 ピリオド開始。対する西女大は、# 2 1 二ノ宮を中心として # 5 濱口が立て続けに 2 本の 3 P シュートを決める。続けて # 1 1 津乗も 3 P シュートを沈め、西女大が流れを掴む。# 2 1 二ノ宮のバスケットカウントで西女大はさらに勢いに乗る。点差を縮めたい東海大は、# 2 8 脇山のポストアップからチャンスを伺うが、得点を奪うことができず、28-9、西女大 19 点リードで第 1 ピリオドを終える。

第 2 ピリオド

追いつきたい東海大は、# 2 野原が 2 本連続で 3 P シュートを決めリズムに乗る。しかし、西女大 # 6 小田原のドライブから # 2 1 二ノ宮が合わせシュートを決め、東海大は 4 : 26 にタイムアウトを請求。タイムアウト後、東海大 # 2 8 脇山が立て続けにシュートを決めるも、西女大の勢いは止まらず、# 5 濱口が 3 P シュートを決め、東海大を突き放す。残り 0 : 12、西女大はタイムアウトを請求。その後、# 1 6 西筋が果敢にドライブで攻めるが、東海大は堅い守備でなんとか守り切り、44-26、西女大のリードで前半を折り返す。

第 3 ピリオド

この試合 3 本目となる 3 P シュートを西女大 # 1 1 津乗が決め、後半がスタートする。続けて # 2 1 二ノ宮がレイアップシュートを決め得点を重ねていく。点差を縮めたい東海大は、# 1 8 松岡がリバウンドからシュートを決め勢いづける。終盤、東海大 # 2 8 脇山が得点を決め、流れに乗りたいが、西女大のディフェンスを崩すことができず、59-30、西女大 29 点リードで最終ピリオドへ。

第 4 ピリオド

開始早々、東海大 # 3 0 塩田がジャンプシュート、# 6 山下が 3 P シュートを決め、西女大はたまらずタイムアウトを請求する。しかし東海大は、勢いのまま # 1 8 松岡、# 2 8 脇山が得点し点差を詰める。対する西女大は、# 2 1 二ノ宮を軸に東海大を寄せ付けない。東海大は、早い攻めからパスを繋ぎ、# 6 山下、# 3 0 塩田が立て続けに 3 P シュートを決め、粘りを見せるも、終始ディフェンスの手を緩めなかった西女大が、74-56 と 18 点差をつけ、第 5 位を飾った。